

平成27年（2015）8月 入域観光客数概況

8月の観光客数は、79万7,500人
対前年（H26）同月比 +6万4,200人、+8.8%
～単月の過去最高を更新、3年連続70万人超～

入域状況

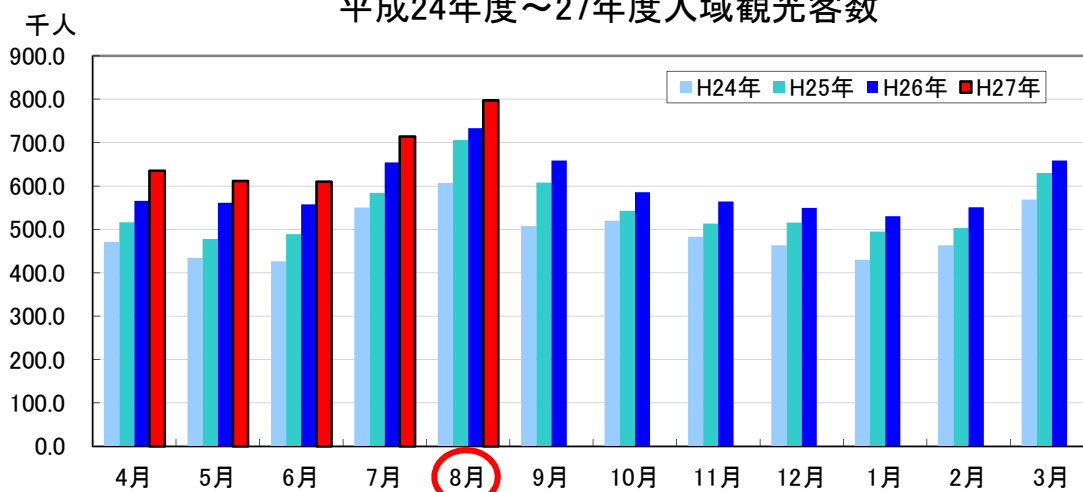
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	642,800 人	649,100 人	△ 6,300人	△ 1.0%	80.6%
外国客	154,700 人	84,200 人	+ 70,500人	+ 83.7%	19.4%
合計	797,500 人	733,300 人	+ 64,200人	+ 8.8%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	642,800 人	649,100 人	△ 6,300人	△ 1.0%	82.2%
外国客	139,400 人	73,600 人	+ 65,800人	+ 89.4%	17.8%
合計	782,200 人	722,700 人	+ 59,500人	+ 8.2%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



国内客 入域状況

8月は、お盆休み期間を中心に、深夜便等を含めて好調を維持したものの、下旬の大型台風による影響が大きかったことや、各方面との競合等により、前年をやや下回った。

9月以降は、引き続き、各航空会社の航空路線の拡充や、9月のシルバーウィーク予約状況が各方面ともに好調であることから堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

8月は、夏休みの旅行需要や、夏場の増便を含む航空路線の拡充、アジア最大級のクルーズ船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」の初寄港を含むクルーズ船の寄港回数の増加により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。特に中国と韓国の伸びが顕著であった。

9月以降は、中秋節等の連休による旅行需要が見込まれる中、引き続き、クルーズ船の寄港回数の増加予定や、韓国から離島へのチャーター便の運航を含む航空路線の拡充が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	326,900 人	335,600 人	△ 8,700人	△ 2.6%	50.9%
関西方面	136,600 人	131,100 人	+ 5,500人	+ 4.2%	21.3%
福岡方面	73,300 人	71,500 人	+ 1,800人	+ 2.5%	11.4%
名古屋	48,400 人	50,700 人	△ 2,300人	△ 4.5%	7.5%
その他	57,600 人	60,200 人	△ 2,600人	△ 4.3%	9.0%
合計	642,800 人	649,100 人	△ 6,300人	△ 1.0%	100.0%

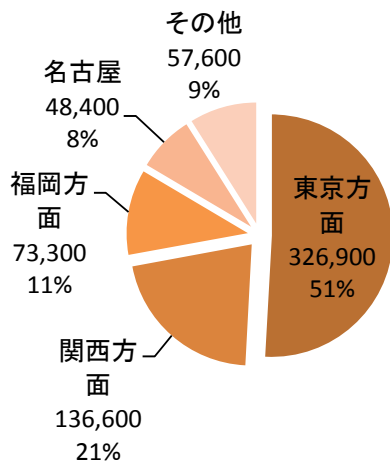
※国内海路客3,700人を含む(鹿児島3,600人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

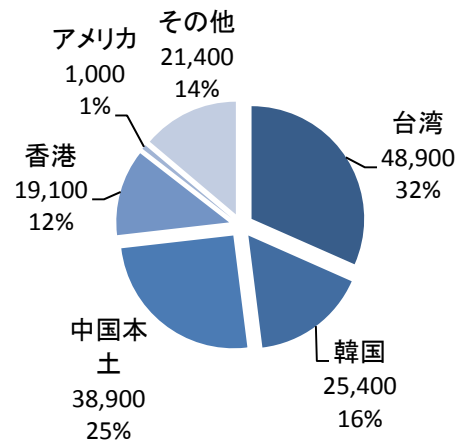
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	48,900 人	48,900 人	38,700 人	+ 10,200人	+26.4%	31.6%
韓国	25,400 人	25,400 人	10,000 人	+ 15,400人	+154.0%	16.4%
中国本土	38,900 人	38,900 人	9,600 人	+ 29,300人	+305.2%	25.1%
香港	19,100 人	19,100 人	11,000 人	+ 8,100人	+73.6%	12.3%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	700 人	+ 300人	+42.9%	0.6%
その他	21,400 人	6,100 人	14,200 人	+ 7,200人	+50.7%	13.8%
合計	154,700 人	139,400 人	84,200 人	+ 70,500人	+83.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	37,400 人	37,400 人	+52.7%	34.0%	11,500 人	11,500 人	△19.0%	25.7%
韓国	25,400 人	25,400 人	+154.0%	23.1%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	23,900 人	23,900 人	+149.0%	21.7%	15,000 人	15,000 人	皆増	33.6%
香港	16,800 人	16,800 人	+52.7%	15.3%	2,300 人	2,300 人	皆増	5.1%
アメリカ	900 人	900 人	+50.0%	0.8%	100 人	100 人	+0.0%	0.2%
その他	5,600 人	5,600 人	+51.4%	5.1%	15,800 人	500 人	+50.5%	35.3%
合計	110,000 人	110,000 人	+85.2%	100.0%	44,700 人	29,400 人	+80.2%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

8月は、お盆休み期間を中心に、深夜便等を含めて好調を維持したものの、下旬の台風によるキャンセル等の影響もあり、全体としては前年を下回った。
9月以降は、引き続き、各方面との競合が懸念されるが、シルバーウィークの予約状況が好調となっていることや、宿泊や離島旅行の助成を行うふるさと旅行券事業による効果も期待できることから、堅調に推移する見込み。

大阪

8月は、台風による影響があったものの、各航空会社による航空路線の拡充や、一部、シルバーウィークからの振替需要などで好調に推移したこともあり、前年を上回った。
9月以降は、シルバーウィークを中心に予約状況が好調となっていることや、関西-石垣路線の入込増が期待できることから、好調に推移する見込み。

福岡

8月は、台風による影響があったものの、各航空会社による航空路線の拡充や、旅行商品がファミリー層を中心に好調であったこと等から、前年を上回った。
9月以降は、シルバーウィークの予約状況が好調となっていることや、九州地区のスポーツイベント開催等による需要もあることから、好調に推移する見込み。

名古屋

8月は、ジェットスター・ジャパンの名古屋-那覇路線等は好調を維持したものの、各方面との競合や、台風による影響が重なったこともあり、前年を下回った。
9月以降は、引き続き、各方面との競合が懸念されるが、シルバーウィークの予約状況が好調となっていることや、一部旅行会社による離島旅行商品の造成・販売等により、堅調に推移する見込み。

台湾

8月は、台風の影響で航空便やクルーズ船に一部、欠航が生じたものの、前年同月に比べて航空路線の拡充により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
9月以降は、引き続き、航空路線の拡充や、離島を含めた旅行商品が造成されていること等から、順調に増加する見込み。

韓国

8月は、ジンエアーによる夏場の増便含む航空路線の拡充や、夏休みの旅行需要も好調に推移したことから、前年を上回った。
9月は、ピーチ・アビエーションのソウル-那覇路線の新規就航やソウル-那覇、宮古及び石垣へ直行チャーター便含む航空路線の拡充、10月以降は韓国LCCによる新規就航が予定されていることから、順調に増加する見込み。

中国本土・北京

8月は、引き続き、前年同月に比べて中国国際航空の北京-那覇路線の増便や、天津-那覇路線等による航空路線の拡充から空路客が増加し、前年を上回った。
9月以降は、中秋節・国慶節の連休による旅行需要や、引き続き、航空路線の拡充等により、空路客の増加が見込まれることから、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

8月は、引き続き、前年同月に比べて上海-那覇路線の増便や、福州及び杭州-那覇路線等による航空路線の拡充、上海及び厦門発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに、前年を上回った。
9月以降は、航空路線の拡充に伴う旅行商品が増加傾向であることや、クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

8月は、引き続き、前年同月に比べて香港ドラゴン航空、ピーチ・アビエーションの香港-那覇路線の増便による航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港、夏休みの旅行需要も好調に推移したことから、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
9月以降は、引き続き、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港が予定されていることから、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。